

# 設置工事説明書

# National

# 1. 寸法図 (キッチン組込み寸法図)

## ビルトイン ガスコンロ

品番	GE-WF751S	GE-WF750K
	GE-WF601S	GE-WF600K

### 工事される方へのお願い

- 器具を正しく安全にご使用いただくために説明書をよくお読みになって指定された工事を行なってください。
- 条件を外れた設置が原因で生じた故障及び損傷は保証期間内でも有料となります。
- 設置工事が終わったら設置工事後の点検確認のチェックリストに基づいて、必ず再確認してください。
- この説明書は必ずお客様にお渡しください。

### お客様へのお願い

- 本製品は一般家庭用の製品です。使用頻度の高い業務用にご使用の場合は安全確保のため必ず定期点検（有料）を受けてください。

### 設置工事後の点検確認

#### ● チェックリスト

点検項目	点検内容	参照項目	チェック
器具及びその周辺	ガス種	銘板は使用するガス種に適合していますか。	2
	同梱部品	正しく取り付けられていますか。また不足はありませんか。	3
	可燃物との離隔距離	可燃物との離隔距離、火災予防上の措置は十分ですか。	2
	設置場所	水平で安定した場所に設置されていますか。	2
	給排気設備	十分給排気できる場所に設置されていますか。	2
ガス接続工事	接続は正しく施工され、ガス漏れはありませんか。	4	

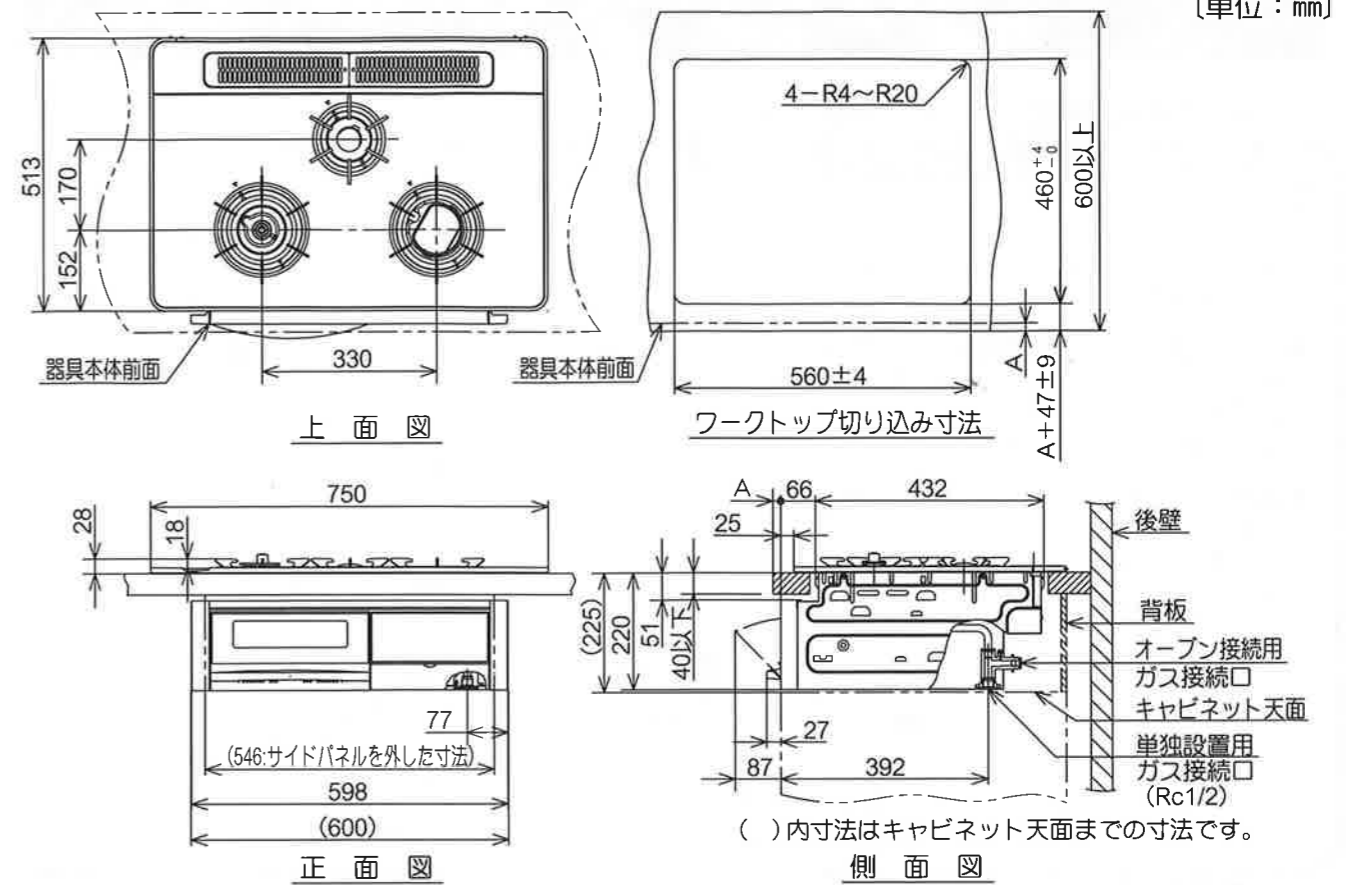
### 試運転

1. 取扱説明書の「使いかた」に従って試運転を行なってください。
2. 試運転が終了した後、長期間使用しない場合などは、ガス栓を閉じておいてください。

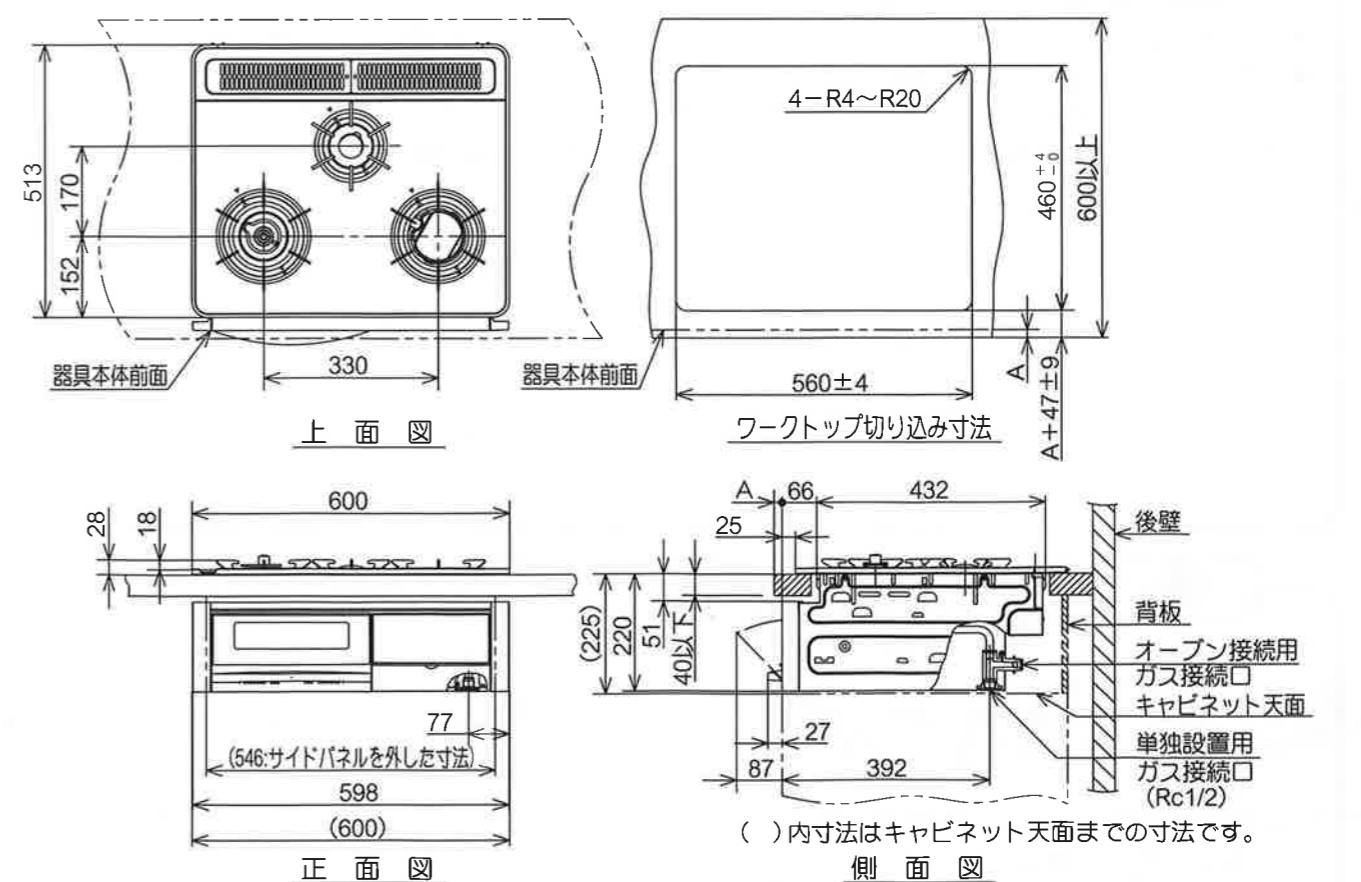
### お客様への取扱い説明

1. 取扱説明書により器具の取扱いを説明してください。
2. 保証書に必要事項を記入のうえ、お客様に取扱説明書とともに、設置工事説明書も合わせて保管していただくようお願いをしてください。

GE-WF751S, 750K



GE-WF601S, 600K



※背板がない場合、器具に異常を及ぼすおそれがありますのでベニヤ板などで器具の後方をふさいでください（段ボールなど燃えやすいものは使用しないでください。）

A: ワークトップとキャビネット前面の寸法

# 2. 安全上のご注意 必ずお守りください

器具を正しく安全に設置工事していただき、設置工事業者及びお使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った設置工事を行なうと、設置工事業者または設置後の製品の不具合により使用者に生じる危険や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

**⚠ 注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

- 🚫** この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- ⚠** この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

■建築基準法、消防法、各都市の条例、ガス事業法、液化石油ガス法、「ガス機器の設置基準及び実務指針」(日本ガス機器検査協会刊)電気設備技術基準などに従う



上記に従わないと、不備により火災などの原因となります。

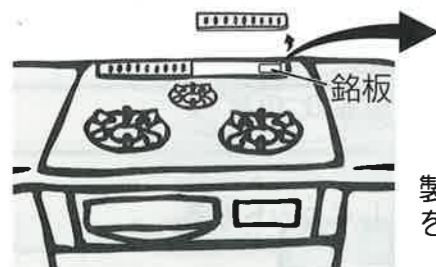
■この「設置工事説明書」に従い、有資格者による正しい工事を行なう



設置工事説明書に従わない工事は不備による火災や器具故障の原因となります。

## ⚠ 注意

■銘板に表示のガス種を使用する



製造年月(〇年×月製)を示します。

都市ガス12A・13Aの場合

型式名	都市ガス用	
ガス区分	12A	13A
ガス消費量 kW		
製造年月	〇〇〇〇年×月	

異なるガスで使用した場合、異常燃焼となり一酸化炭素中毒や、火災の原因となります。

■設置する部屋には必ず給気口を設ける



(給気口の大きさは、1.16 kW(1 000 kcal/h) 当たり10 cm<sup>2</sup>以上を目安にする。)

十分な給気ができないと不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

■トッププレートの上に乗ったり、衝撃を加えたりしない



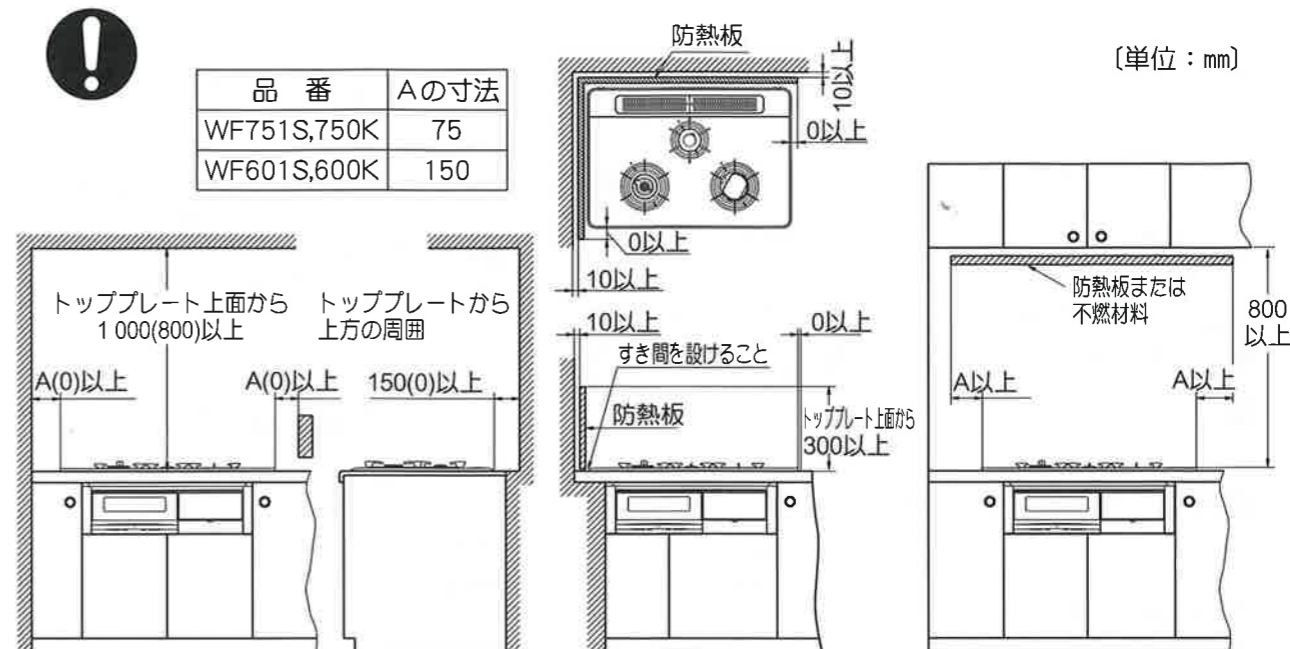
けがや故障の原因となります。

## ⚠ 注意

■周囲の壁・天井などが防火上安全なものであるか、または防火上有効な間隔をとることができる場所に設置する



品番	Aの寸法
WF751S,750K	75
WF601S,600K	150



器具と壁面との間隔(側面はA mm以上、後面は150 mm以上)を離せない場合、または吊り戸棚などの下面との間隔を1000 mm以上離せない場合には、壁面および器具上部へ図のように防熱板または防熱板相当の不燃材料を取り付ける。

上図は器具と「不燃材料以外の材料による仕上げをした建築物等の部分」との離隔距離を示す。可燃性の壁に、ステンレス板などを貼り付けてご使用の場合も上記内容に従ってください。

※( )内は上記に防熱板を取り付けた場合の寸法を示します。

上図の離隔距離を確保できないと器具または建築物の部分などが過熱し、火災の原因となります。

■ガソリン、ベンジン、接着剤などの引火性の危険物を扱う場所には設置しない



火災の原因となります。

■車両・船舶への設置はしない



振動により器具が転倒し、火災や器具故障の原因となります。

■この器具を設置する台所が、建築基準法に定める「内装制限を受ける調理室」に該当する場合は、台所全体についても指定の内装材を使用する



建築物の部分などが過熱し、火災の原因となります。

■設置する部屋には必ず排気口を設ける



●ガス消費量が11.6 kW (10 000 kcal/h) を超える場合は器具の真上に排気フード付排気筒(レンジフード)を設ける

十分な排気ができないと室内に排気がこもり、不完全燃焼し、一酸化炭素中毒などの原因となります。

## 2. 安全上のご注意 必ずお守りください

### ⚠ 注意

■できるだけ湿気の少ない場所に設置する



水のかかる場所は部品の故障やガラスの破損の原因となります。また、器具の寿命が短くなります。

■器具の回りや上部には、エアゾール缶、プラスチック、油、紙類などの燃えやすいものを置かない



火災の原因となります。

■ガス接続工事は必ず有資格者が行なう



有資格者以外の工事は、不備によりガス漏れなどの原因となります。

■棚の下など、落下物の危険のある所、および樹脂製の照明器具の下には設置しない



落下物による火災や、熱による照明器具の変色の原因となります。

■丈夫で水平な場所に設置する



水平になっていないと、異常燃焼し、一酸化炭素中毒や火災の原因となります。

■金属製のワークトップにオープンをセットで接続する場合は必ず絶縁テープなどで絶縁処理をする



漏電が発生した場合、感電や火災の原因となります。(電気設備技術基準により義務付けられています。)

■ワークトップの表面がニス引きのものは使用しない



熱による変色の原因となります。

■ワークトップの材質は、熱硬化性樹脂化粧板(JIS K 6903)またはこれと同等以上の材料を使用する



他の材質のものを使用すると過熱し、火災の原因となります。

### お願い

■器具後方の排気口を水切りカバー(水返しカバー)などでふさがない。また本体をタイルやモルタルなどで塗り込まない

メンテナンス時に修理ができないことがあります。

■グリル上部のワークトップ部は、高温になるため、塩化ビニル樹脂など耐熱温度の低い材料の使用は避けてください

## 3. 同梱部品の確認

部品名	形状	個数	部品名	形状	個数
バーナーキャップ (左コンロ用)		1	ごとくリング・奥		1
バーナーキャップ (奥コンロ用)		1	排気口カバー		2
ごとく・前 (左、右)		2	グリルアミ		1
ごとく・奥		1	サイドパネル (左、右)		各1
しる受け皿・前 (左)		1	止めねじ <small>(本体下部付近に取付)</small>		4
しる受け皿・前 (右)		1	アルカリ乾電池 (単1形)		2
しる受け皿・奥		1	取扱説明書 設置工事説明書		各1
ごとくリング・前 (左、右)		2	グリルバーナー カバー		2

### ■ 別売品 (防熱板)

GT-P40 幅 600 × 高さ 350 × 厚み 16 mm

KBN-2 幅 610 × 高さ 350 × 厚み 16 mm (松下設備システム(株)扱い)

# 4.

## ガス配管・接続工事 (ビルトインコンロ本体を設置、固定した後、このガス配管・接続工事を行なってください。)

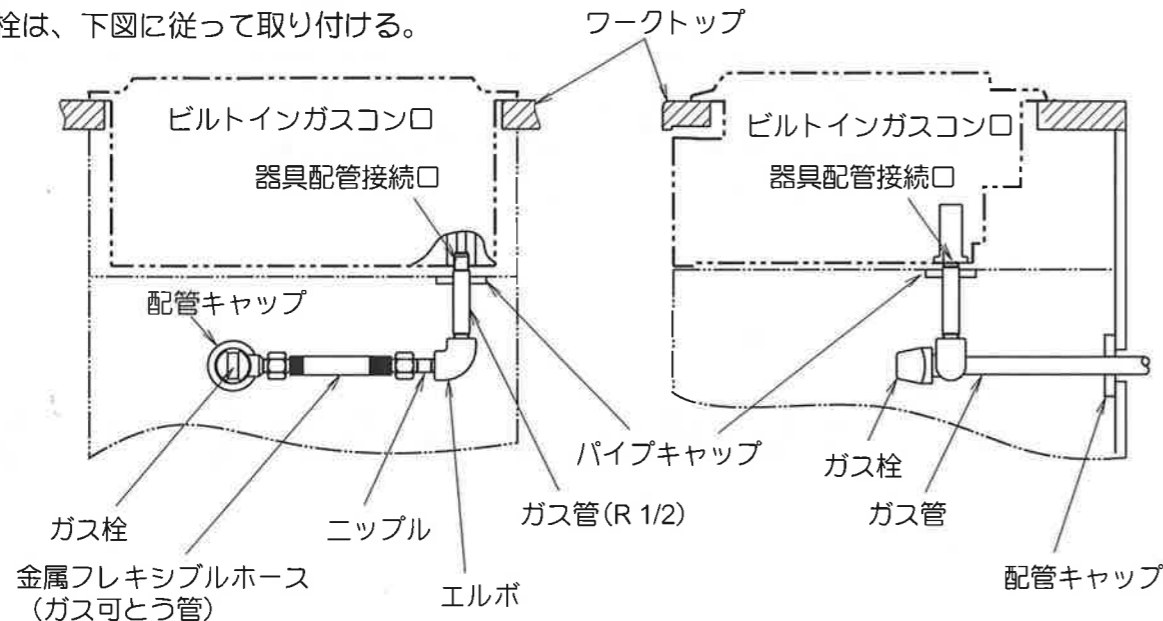
### ガス配管工事

器具を設置する場所にガス栓がない場合、あるいはあっても適切でない(位置・口径)場合は、新設または交換する必要があります。なおガス栓の新設・交換はガス事業者にご相談ください。

#### ガス接続方法

##### ビルトインガスコンロ単体で設置する場合

- ガス接続はRc1/2メネジです。必ず金属管または金属可とう管でガス接続する。
- ガス栓は、下図に従って取り付け。



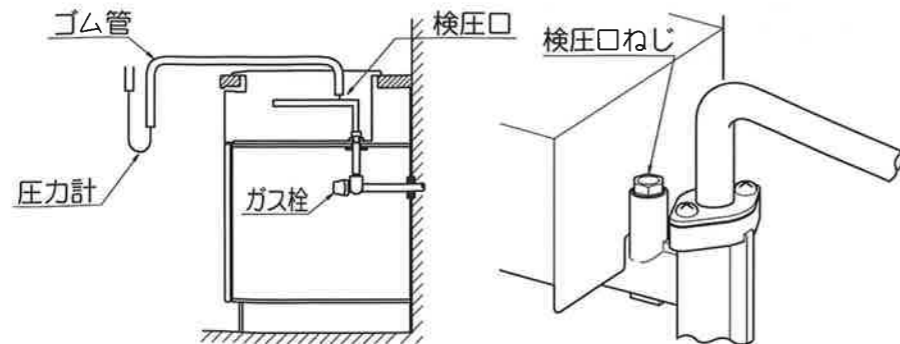
※パイプキャップや配管キャップを取付け、配管周囲の隙間はなくすようにしてください。隙間が大きいとバーナーの吹き消えや炎の吸引による異常過熱の原因となります。

##### ビルトインガスコンロとビルトインガスオープンをセットで設置する場合

- ガス接続、配管工事は、オープン側の「設置工事説明書」を参照。

#### 工事後のガス漏れの確認

- 検圧口に圧力計を接続し、ガス栓を開いてガス圧を加えた後、ガス栓を閉じて圧力計の指示が下らないことを確認。



[ガス漏れの確認終了後]

- 検圧口ねじは、Oリングがついていることを必ず確認してから確実に取り付ける。

### ガス接続工事

#### ビルトインガスコンロとビルトインガスオープンとのガス接続方法

#### ⚠ 注意

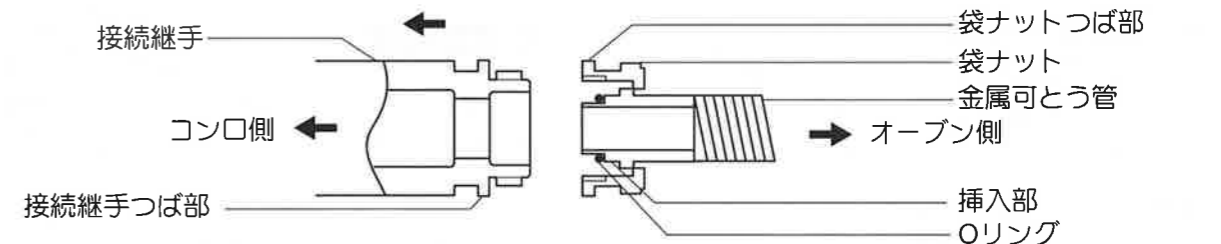
##### ■Oリングについて次のことを確認する

- 1個のみ入れ、複数個入れない
- 金属可とう管に付いていること
- 接続継手に残っていないこと
- 傷がないこと

不備があるとガス漏れの原因となります。

##### ■固定金具のスリット穴の中に接続継手と金属可とう管の袋ナットのつば部が入っていることを必ず確認する

金属可とう管の袋ナットの締め込みが不十分であるとスリット穴につば部が入らず、ガス漏れの原因となります。



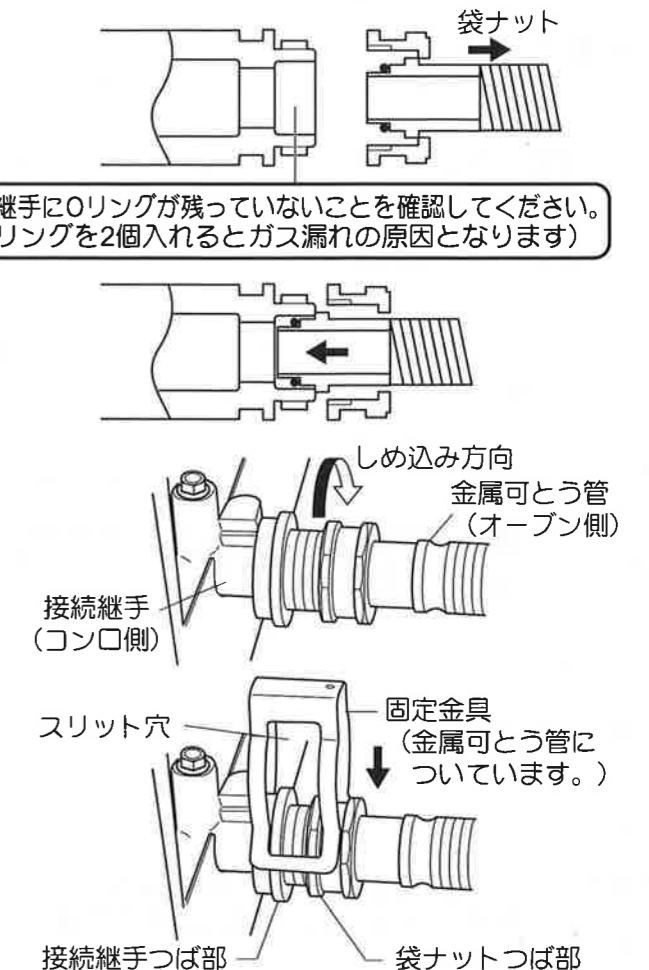
- ①オープン側に組み付けてある金属可とう管の袋ナット部を→方向へ移動する。

接続継手にOリングが残っていないことを確認してください。(Oリングを2個入れるとガス漏れの原因となります)

- ②挿入部を接続継手と平行に奥まで確実に挿入する。

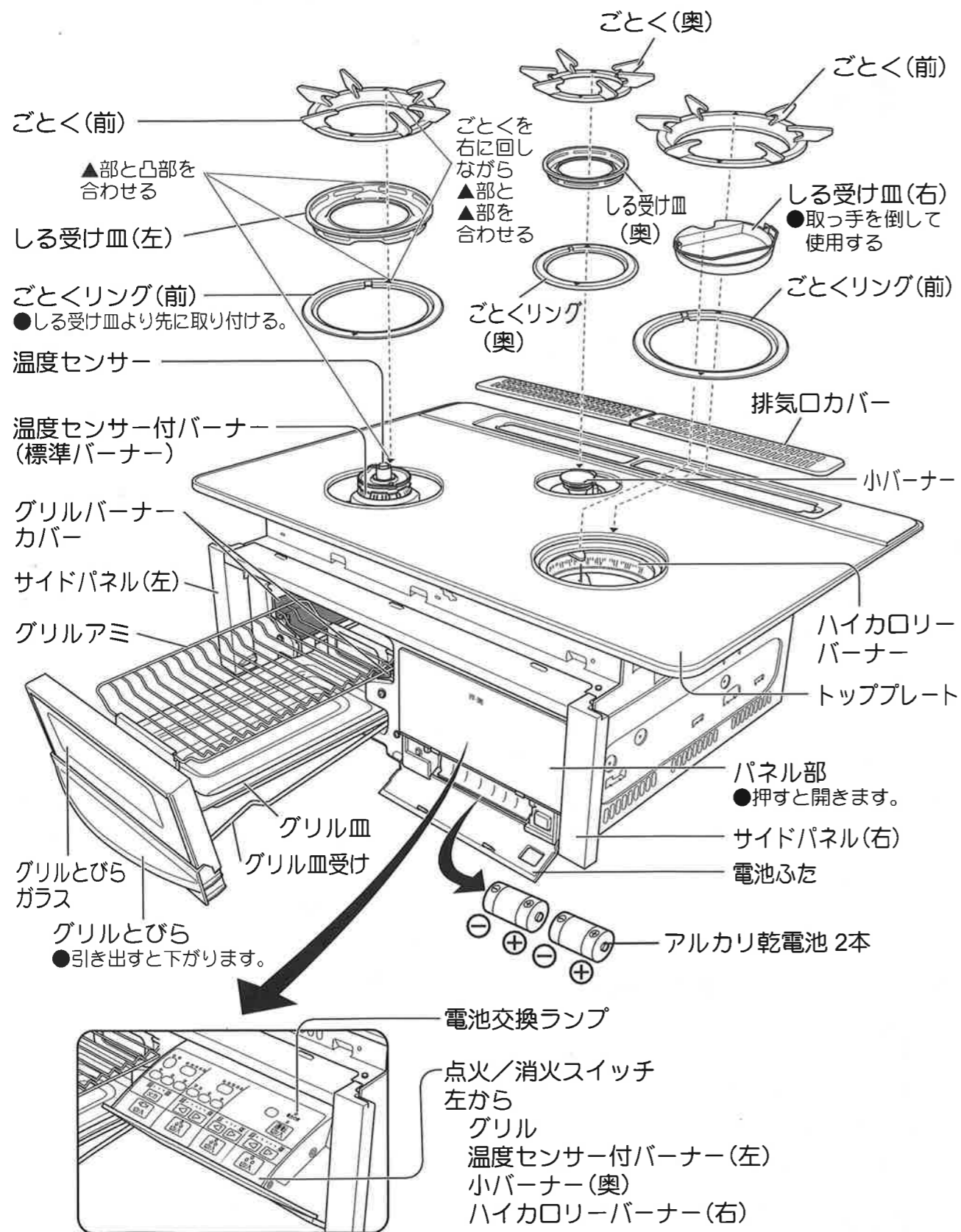
- ③手じめで金属可とう管の袋ナットをねじ込んだ後、スパナで確実に締め込む。

- ④袋ナットと接続継手の両方のつば部が固定金具のスリット穴に入るように固定金具をはめ込む。



# 5. 器具の設置

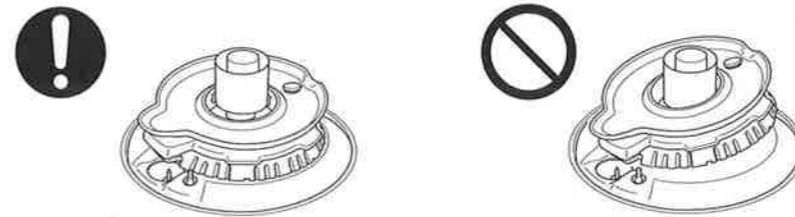
## 設置部品の概要



※グリルバーナーカバー、グリルアミは取扱説明書を参照して取り付けてください。

## ⚠ 注意

■バーナーキャップは正しくセットする

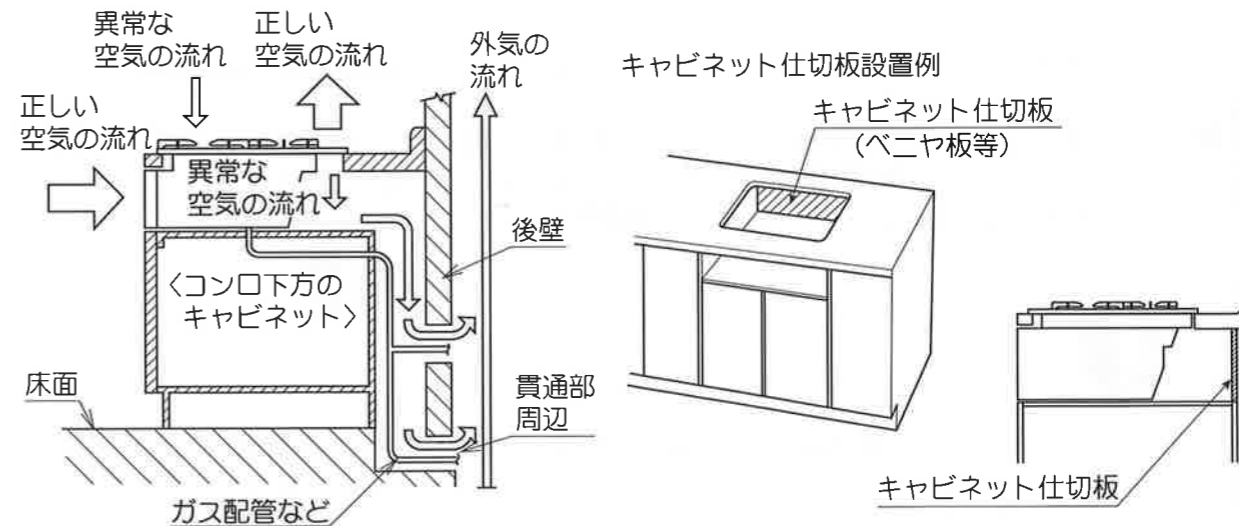


浮いた状態で使用すると、点火しなかったり異常燃焼や変形の原因となります。

■キャビネットに背板があるか確認する

ベニヤ板などにより器具の後方をふさいでください。

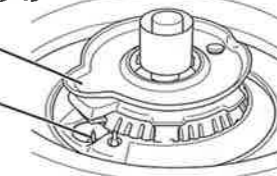
キャビネットに背板が無い場合、後壁の配管貫通部で内気と外気がつながり、異常な空気の流れが起こるため、炎がゆらいだり、火が消えたり、温度センサーが正しく働かないことがあります。



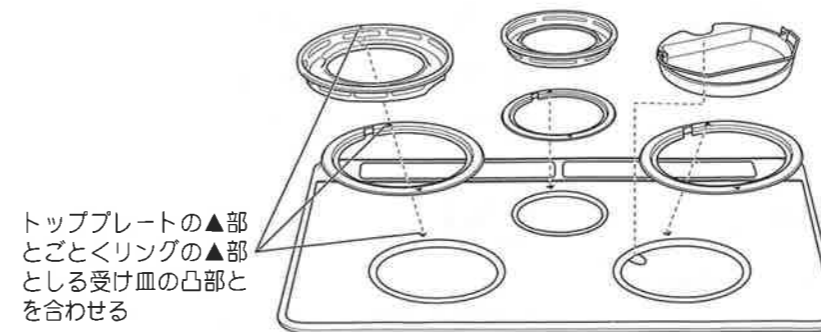
## 器具設置時のお願い

●バーナーキャップが浮いたり、傾いたりしていないか確認する。

バーナーキャップの突起部を  
点火プラグの位置に合わせる。



●ごとくリング、しる受け皿は、トッププレートに正しくセットする。  
※ごとくリングは、しる受け皿より先に取り付ける。



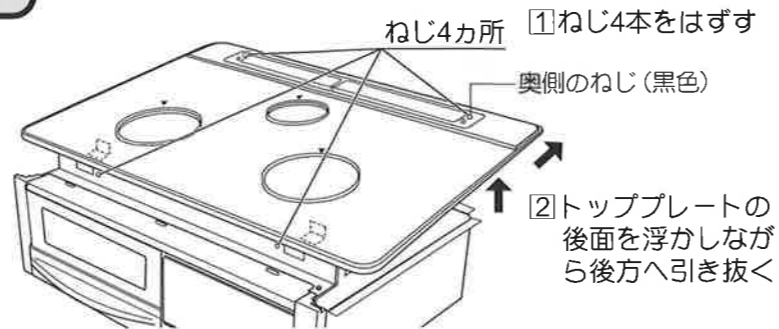
### お願い

●ごとく・ごとくリング・排気口カバー・しる受け皿は、トッププレートへ衝撃を与えないように取り付ける。  
(トップガラス割れの原因)

## ビルトインガスコンロ 単独で設置する場合

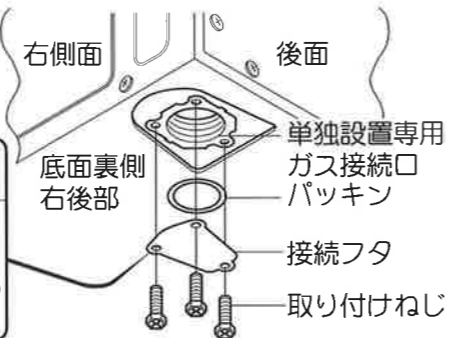
### ① 部品の取り外し

- トッププレート上の部品をすべて取り外す。
- グリルとびらを少し持ち上げるようにして、グリル皿を引き出す。
- トッププレートを右図のように外す。
  - 奥側のねじ2本は、⑤部品の取り付けに必要なので、捨てないでください。
  - 前面のねじ2本は不要。
- 器具側ガス接続口の接続フタの取り外し。
  - ねじ3本を外して、接続フタとパッキンを取り外す。
  - 取り外した部品は不要。



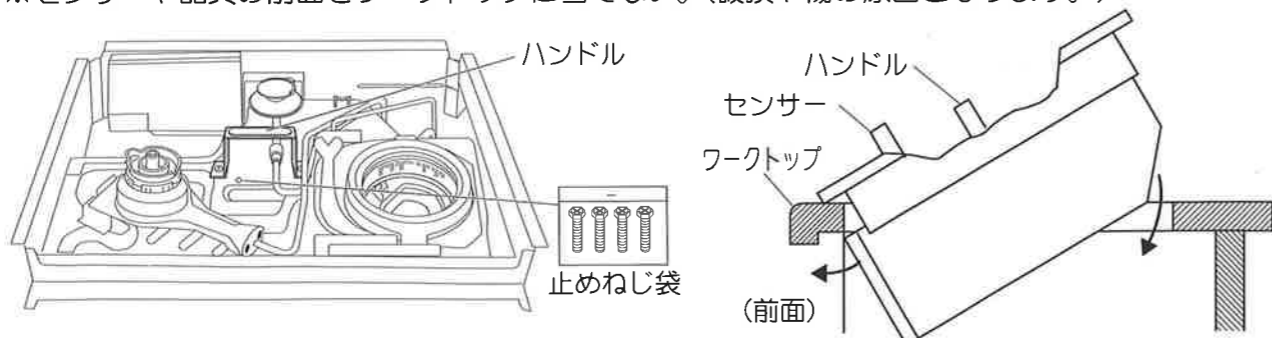
#### ⚠ 注意

■ オープンと接続する場合は、接続フタを外さない  
外すとガス漏れによる火災の原因となります。



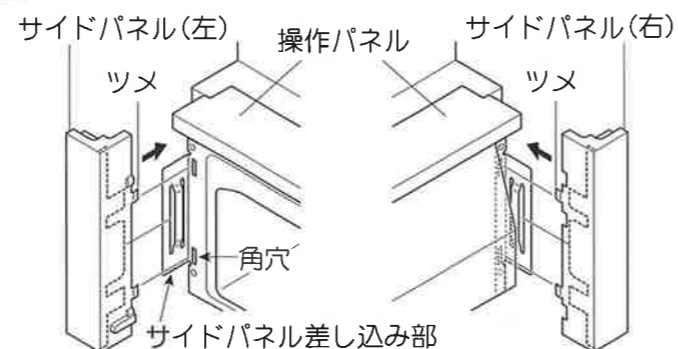
### ② 本体の設置

- 本体から止めねじ袋を取り外す。(袋が本体に残らないように注意してください。)
- 上面のハンドルを持ち、下図のようにワークトップに挿入し、はめ込む。  
※パネル部(操作部)は、必ず閉めた状態ではめ込む。(パネル部は押すと、開くのでご注意ください。)
- ※センサーや器具の前面をワークトップに当てない。(破損や傷の原因となります。)



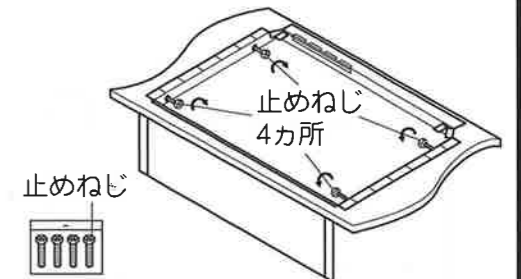
### ③ サイドパネルの取り付け

- 操作パネルの角穴(上下2カ所)にサイドパネルのツメを挿入する。  
※グリルとびらを開いた状態で行なう。  
※パネル差し込み部の変形や傾きがないか確かめる。
- ※サイドパネルの右と左を確認する。(形状が異なります。)
- ※サイドパネルの側面と上面を操作パネルに合わせて挿入する。



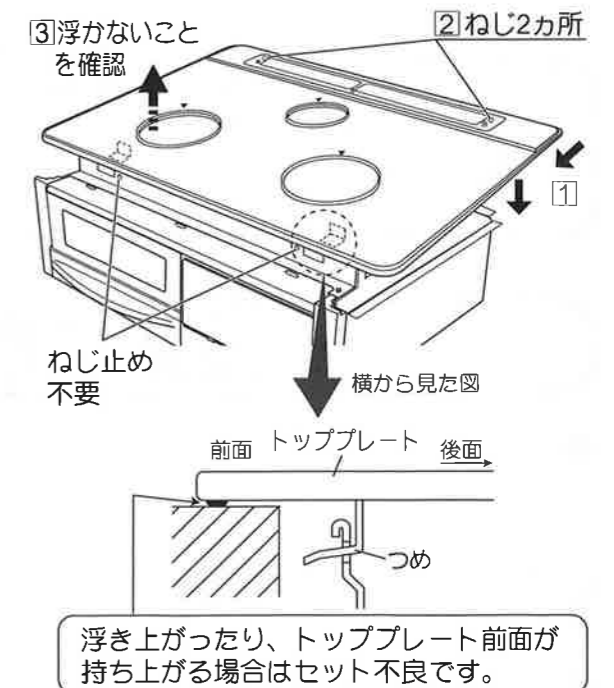
### ④ 本体の固定

- 本体の位置決め後、止めねじ袋から止めねじ4本を取り出し、固定する。
- 止めねじ先端がワークトップに触れてから約1.5回転程度で締め付ける  
※必ずドライバーで手締めし、締め付け過ぎない。(締め付けすぎるとトッププレートの装着が困難になったり、器具やワークトップの損傷の原因となります。)



### ⑤ 部品の取り付け

- トッププレートを右図に従って固定する。
- ① トッププレートの後面を浮かしながら前方へ動かし、つめを引っ掛ける
- ② 排気口部をねじ2本で締め付ける
  - トッププレート周囲が浮いていないか確認する。
  - 前面はねじ止め不要です。
- ③ トッププレート前面を持ち上げ、浮かないことを確認する。
- バーナーキャップ、ごとくリング、しる受け皿、ごとくの順でセットする。
- その他の部品もセットする。
- グリル皿を引き出した時、グリルとびらが下がるようにグリルとびらとグリル皿は分離しています。(外れた場合は取扱説明書を参照)

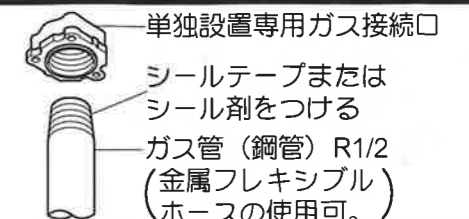


### ⑥ 乾電池の取り付け

- 単1形アルカリ乾電池2本をセットした後、電池ふたを閉める。  
(5. 器具の設置の「設置部品の概要」参照)

### ⑦ ガス接続

- 必ずガス漏れ検査を行なう。  
(4. ガス配管・接続工事 参照)

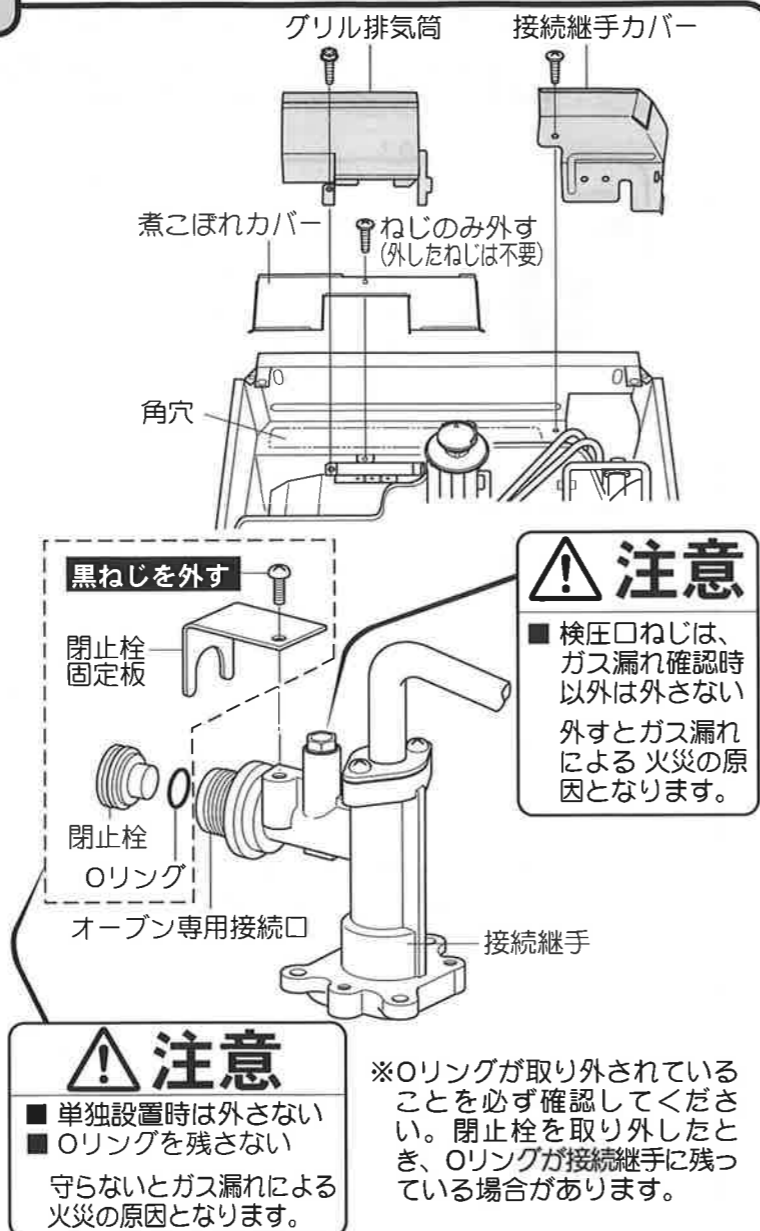


# 5. 器具の設置

## ビルトインガスコンロとビルトインガスオーブンをセットで設置する場合

### ① 部品の取り外し

- トッププレートを含む部品すべてを取り外す。  
(ビルトインガスコンロ単独で設置する場合の①参照)
- グリル排気筒と接続継手カバーの取り外し。
  - ねじ1本を外して、グリル排気筒を取り外す。
  - ねじ1本を外して、接続継手カバーを取り外す。
- ※グリル排気筒と接続継手カバーとねじ2本は、「⑦グリル排気筒の取り付け」「⑨接続継手カバーの取り付け」で必要なので捨てないでください。
- コンロボデー後部に角穴をあける。
  - 角穴部のラインに沿って、ニッパーなどで切り取るか、マイナスドライバーなどで打ち抜く。(切り取った板は不要)
- 煮こぼれカバーのねじ1本を外す。  
(外したねじは不要)
- 閉止栓の取り外し。
  - 黒ねじ1本を外して、閉止栓固定板を取り外す。
  - 次に、閉止栓を後方へ引き抜く。
- 取り外した閉止栓固定板と閉止栓とOリングは不要です。
- ビルトインガスオーブン側の作業  
→ビルトインガスオーブン側に付属されている「設置工事説明書」を参照して行なう。



### ③ サイドパネルの取り付け

(ビルトインガスコンロ単独で設置する場合の③参照)

### ④ 本体の固定

- (ビルトインガスコンロ単独で設置する場合の④参照)
- オーブン側は、オーブン側に付属されている「設置工事説明書」を参照。

### ⑤ オーブンとビルトインガスコンロの接続

- (接続の方法は、4. ガス配管・接続工事 参照)
- オーブン側に組み付けてある金属可とう管をビルトインガスコンロ側の接続口と接続する。
- ※金属可とう管にOリングが、1個入っていることを必ず確認する。
- ※ビルトインガスコンロのオープン専用接続口にOリングが残っていないか確認する。
- ※ビルトインガスコンロのみの買い替え時には、コンロ側の新しいOリングを使用する。

### ⑥ オーブン排気筒(オープン側の付属品)の取り付け

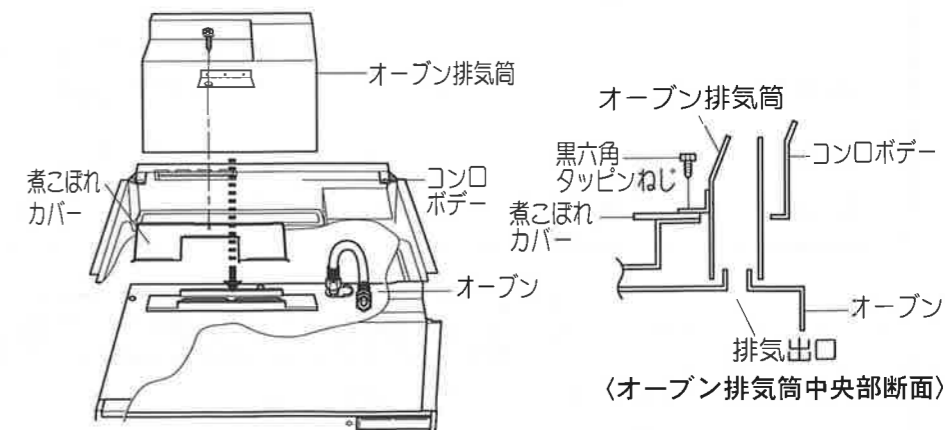
- ビルトインガスコンロのボデー後部に開口した角穴を通して、オープン排気筒をオープン後側の排気出口に確実に差し込み、ねじ1本(オープン側に付属)でビルトインガスコンロのボデーに取り付ける。(煮こぼれカバーを共締めしてください。)

#### 注意

オープン排気筒は必ず取り付ける

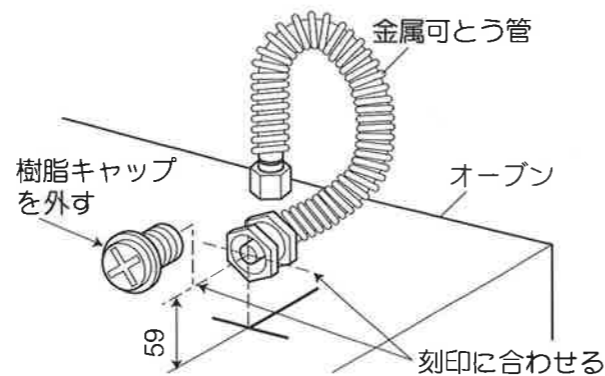


取り付けを忘れるとコンロ燃焼不良の原因となります。



### ② 本体の設置

- 接続時は白い樹脂キャップを外す。  
(外した樹脂キャップは不要)
- ビルトインガスコンロをはめ込む前に、オープン側の金属可とう管を右図のような形状・寸法に曲げる。
- ビルトインガスコンロ本体のはめ込み  
(ビルトインガスコンロ単独で設置する場合の②参照)



### ⑦ グリル排気筒の取り付け

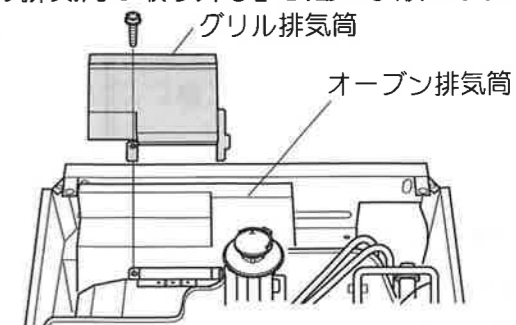
- 元の状態に、グリル排気筒を取り付ける。  
(取り付け方法は、左記「①部品の取り外し」の「グリル排気筒の取り外し」と逆の手順です。)

#### 注意

グリル排気筒は必ず取り付ける



取り付けを忘れるとコンロ燃焼不良の原因となります。

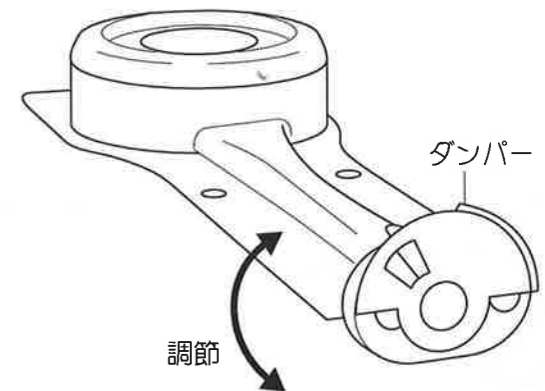


## 6. 試運転

### 試運転を行なう

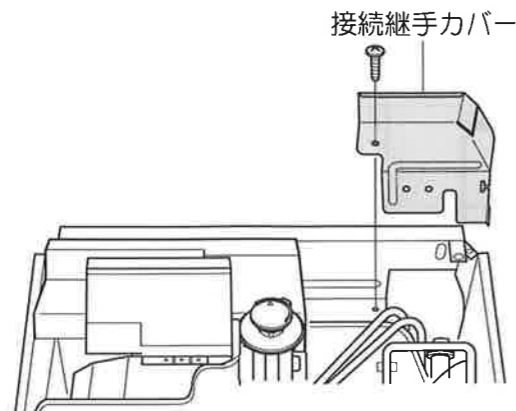
- 表面の「設置工事後の点検確認」の「●チェックリスト」によりチェックする。
- 取扱説明書に従って、コンロ、グリルの点火確認および試運転を行なう。
- コンロバーナーの燃焼に異常がないことを確認する。

都市ガス用(13A,12A以外)で万一リフティング(飛火)や逆火などが発生した場合、ダンパーを矢印(←→)の方向に動かして調節する。



### ⑧ 接続継手カバーの取り付け

- 元の状態に、接続継手カバーを取り付ける。(取り付け方法は、左記「①部品の取り外し」の「接続継手カバーの取り外し」と逆の手順です。)



### ⑨ 部品の取り付け

- トッププレートを含むすべての部品の取り付け(ビルトインガスコンロ単独で設置する場合の⑤参照)

### ⑩ 乾電池の取り付け

- 単1形アルカリ乾電池2本をセットした後、電池ふたを閉める。  
(「5. 器具の設置」の「設置部品の概要」参照)

### ⑪ ガス接続

- 必ずガス漏れ検査を行なう。(「4. ガス配管・接続工事」参照)
- ビルトインガスオープン側に付属されている「設置工事説明書」を参照。

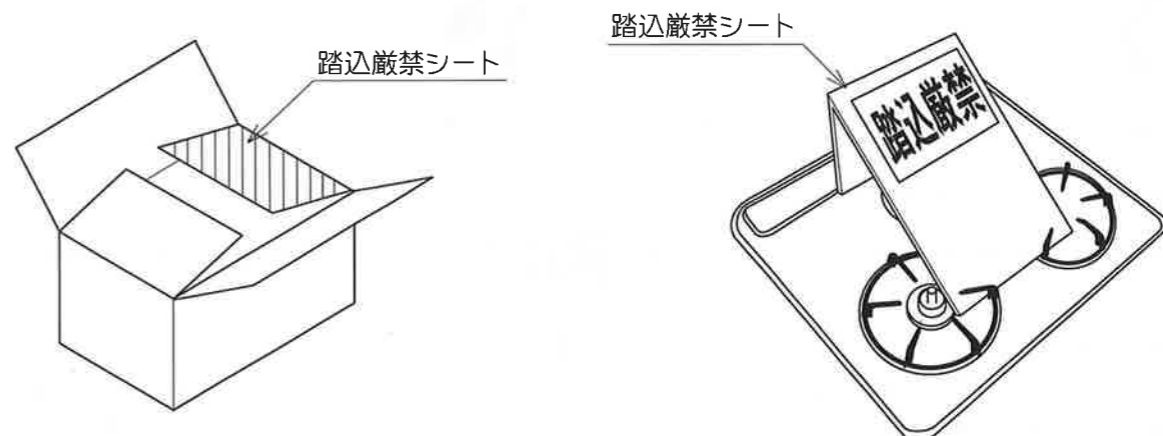
## ビルトインガスコンロのみ交換する場合

- 「ビルトインガスコンロとビルトインガスオープンをセットで設置する場合」の内容を⑨⑧⑦⑥の順で実施して古いビルトインガスコンロを取り外してから、新しいコンロを「ビルトインガスコンロとビルトインガスオープンをセットで設置する場合」の内容に従って取り付け。

## 7. 踏込厳禁シートの取付け

### 踏込厳禁シートを取付ける

- 踏込厳禁シート(梱包箱の右フラップ)を切り取り、器具上面に置いてください。



製造者 松下電器産業株式会社 トワレ・ヒーティングビジネスユニット  
〒639-1188 奈良県大和郡山市筒井町800  
TEL (0743)56-1121